

世界にひとつだけの花

ナンバーワンに ならなくてもいい
もともと 特別なオンリーワン

花屋の店先にならんだ いろんな花を見ていた
人それぞれ好みはあるけど どれも みんなきれいだね
このなかで誰が一番だなんて 争うこともしないで
バケツの中 誇らしげに しゃんと胸を張っている

それなのに
僕ら人間は どうして こうも比べたがる？
一人一人違うのに
そのなかで 一番になりたがる？

そうさ 僕らは 世界にひとつだけの花
一人 一人 違う種を持つ
その花を咲かせることだけに
一生懸命になればいい

困ったように笑いながら ずっと迷ってる人がいる
頑張って咲いた花は どれも きれいだから仕方ないね
やっと店から出てきた その人が抱えていた
色とりどりの花束とうれしそうな横顔

名前も知らなかったけれど
あの日 僕に笑顔くれた
誰も気づかないような場所で 咲いてた花のように

そうさ 僕らも 世界にひとつだけの花
一人 一人 違う種を持つ

その花を咲かせることだけに
一生懸命になればいい

小さい花や大きな花
一つとして同じものはないから

ナンバーワンに ならなくてもいい
もともと 特別なオンリーワン

Copyright © 2002-2026 Oguchi R&D All rights reserved.